

県民会議を「意見をいただく諮問的機関」から、「皆様と一緒に施策を実施する機関」へ



県民会議が持つポテンシャルを一層、県政に反映していきたい

## 提案

現在の「埼玉県食の安全県民会議」を

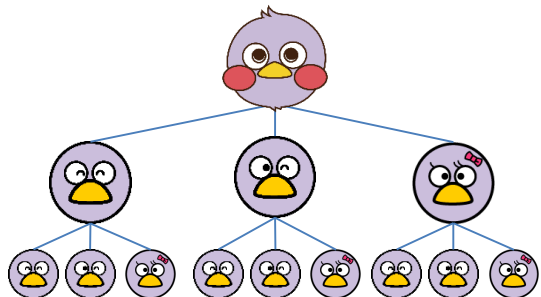
- ①施策に対する意見をいただきつつも、
- ②県、企業、団体等が一体となって取組を実施できる組織へパワーアップしていく



新たな組織の力により、次のような課題を解決していく！

### 人材育成

食の安全を指導できる人材を育て、その人材が、各地域で活躍する体制を作る



### HACCPの導入

法改正により、ラーメン店やだんご屋など全ての食品施設にHACCPによる衛生管理を導入していく

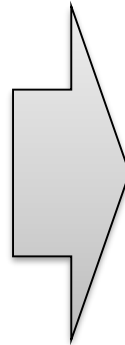
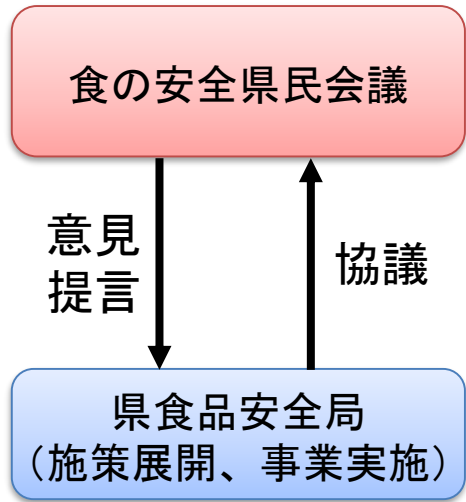


### 更なる食の安全の確保

ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピックの日本開催を契機として、食の安全性を一層高めていく



## 現行体制



## 新体制

### 食の安全推進委員会

県の施策についての御意見をいただくとともに、特定の課題について、県、企業、団体等が一丸となって課題解決に向けた取組を実施していく

※まずは喫緊の課題であるHACCPの導入を推進

#### HACCP推進チーム

(県食品安全局、埼玉県食品衛生協会、HACCP導入済み企業等)

既に導入している企業や団体等の御支援により、HACCPの導入をサポート

《下部組織》

#### 〇〇チーム

⋮

新たな食品安全の課題に応じて実働組織を追加で設置

県、企業、団体等が一体となって施策を効果的に展開していく